日本工学院	<u> </u>	3日 六六 十六	甲基左床		元子21 左 座)	扒口力	ボラーニ	エギー中を	習1
- 12	阮八土于	门子仪	用舑牛及	2019年度(平成31年度)	科目名	ガスエネ	ルイー夫は	
科目基礎情	報								
開設学科	電子・電気	子・電気科		コース名	電気工学コース		開設期	後期	
対象年次	2年次		科目区分	選択	選択		時間数	30時間	
単位数	1単位		授業形態	講義					
教科書/教材	レジュメ・資料を配布								
担当教員情	 野								
 担当教員	連携企業担	 当者				実務経験の	 有無・職種	有・ガス	
 学習目的									
どの様にすれ	れば利用でき	るのか、どの	の様に利用さ	れているのか	か、どの様な	機器が必要なの	のか等を知る。	必要がある。	気がエネルギーであることを理解し、 。「電気はどのようにつくり出すか」 必要な知識を学習する事を目的とする
到達目標									
									設備などについて学び、再生エネル とが出来る知識を身につける事を目標
	<u> </u>								
授業概要	実習科目と過	車動させて「	学び・触る」	を取り入∤	いて行っていく	<.			
注意点	欠席は認めた	ない。授業に	出席するだり	けでなく、社	L会への移行?		憂講マナーで 接	受業に参加す	習科目の為、理由の有無に問わず遅刻 することを求める(詳しくは、最初の
注意点	欠席は認めた 業で説明)。	ない。授業に ただし、授	出席するだり	けでなく、社	L会への移行?	を前提とした受	き講マナーで接 き験することか	受業に参加す	することを求める(詳しくは、最初の
	欠席は認めた 業で説明)。 種別	ない。授業に ただし、授 割合	出席するだり 業時数の4分	ナでなく、社 分の3以上出	Ł会への移行⁵ 出席しない者(を前提とした受	憂講マナーで 接	受業に参加す	することを求める(詳しくは、最初の
評	欠席は認めた 業で説明)。	ない。授業に ただし、授 割合 70 %	出席するだり 業時数の4分 試験を総合	けでなく、社分の3以上出 分の3以上出 か的に評価す	Ł会への移行⁵ 出席しない者(を前提とした受は定期試験を受	き講マナーで接 き験することか	受業に参加す	することを求める(詳しくは、最初の
	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験	ない。授業に ただし、授 割合 70% 15%	出席するだり 業時数の4名 試験を総合 授業内容の	けでなく、社分の3以上出合的に評価すり理解度を確	t会への移行 ² 出席しない者(する 全認するため	を前提とした受は定期試験を受	き講マナーで接 を験することか 備 考	受業に参加す	することを求める(詳しくは、最初の
評 価	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テスト	ない。授業に ただし、授 割合 70% 15%	出席するだり 業時数の4名 試験を総合 授業内容の	けでなく、社分の3以上出合的に評価すり理解度を確	t会への移行 ² 出席しない者(する 全認するため	を前提とした受は定期試験を受けた で実施する	き講マナーで接 を験することか 備 考	受業に参加す	することを求める(詳しくは、最初の
評 価 方	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テスト	ない。授業に ただし、授 割合 70% 15%	出席するだり 業時数の4名 試験を総合 授業内容の	けでなく、社分の3以上出合的に評価すり理解度を確	t会への移行 ² 出席しない者(する 全認するため	を前提とした受は定期試験を受けた で実施する	き講マナーで接 を験することか 備 考	受業に参加す	することを求める(詳しくは、最初の
評 価 方 法	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テスト	ない。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15%	出席するだり 業時数の4名 試験を総合 授業内容の	けでなく、社分の3以上出合的に評価すり理解度を確	t会への移行 ² 出席しない者(する 全認するため	を前提とした受は定期試験を受けた で実施する	き講マナーで接 を験することか 備 考	受業に参加す	することを求める(詳しくは、最初の
評価 方法	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テスト 平常点	ない。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15%	出席するだり 業時数の4名 試験を総合 授業内容の	けでなく、社分の3以上出合的に評価すり理解度を確	t会への移行 ² 出席しない者(する 全認するため	を前提とした受は定期試験を受けた で実施する	き講マナーで接 を験することか 備 考	受業に参加す	することを求める(詳しくは、最初の
評価方法	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テスト 平常点	ない。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15%	出席するだり 業時数の 4 名 記験を総合 授業内容の 積極的な授	けでなく、社分の3以上出合的に評価する。 理解度を確認を確認を確認を確認を確認を確認を確認を確認を確認を確認を確認を確認を確認を	t会への移行 ² 出席しない者に する を認するため 授業態度に	を前提とした受は定期試験を受けた で実施する	き講マナーで接 を験することが 備 考 る 各回の至	受業に参加す	することを求める(詳しくは、最初の
評 価 方 法 受業計画 (回	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テスト 平常点 (1回~8回)	ない。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15%) 授業内容	出席するだり 業時数の 4 名 記験を総合 授業内容の 積極的な授	けでなく、社分の3以上出合的に評価すり理解度を確認業参加度、	t会への移行 ² 出席しない者に する を認するため 授業態度に	を前提とした受 は定期試験を受 に実施する よって評価す の取扱い方法を	き講マナーで接 を験することが 備 考 る 各回の至	受業に参加す	することを求める(詳しくは、最初の
評 価 方法 受 業計画 (1回 2回	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テスト 平常点 (1回~8回) ガスエネルニ	はい。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15%) 授業内容 ギーの取扱い	出席するだり 業時数の 4 名 記験を総合 授業内容の 積極的な授	けでなく、社分の3以上出 分の3以上出 かに評価す り理解をを 登業参加度、 ガスエンジ	t会への移行 ² 出席しない者(する を認するため 授業態度に がずし、 ガスの で で で で で で で の 構造を理	を前提とした受 は定期試験を受 に実施する よって評価す の取扱い方法を 理解する	登講マナーで接 受験することが 備 考 る 各 回 の 習得する	受業に参加するできない。	することを求める(詳しくは、最初の
評価方法 授業計画 (1回 2回 3回	欠席は認めた業で説明)。 種別 試験 小テスト 平常点 (1回~8回) ガスエンジン	はい。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15%) 授業内容 ギーの取扱い	出席するだり 業時数の 4 名 記験を総合 授業内容の 積極的な授	けでなく、社 分の3以上出 ら的に評価する ででである。 が理解ができる。 がスエンジ ガスエンジ ガスエンジ	t会への移行 ² 出席しない者(する を認するため 授業態度に がずし、 ガスの で で で で で で で の 構造を理	を前提とした受 は定期試験を受 に実施する よって評価す の取扱い方法を 型解する そ電システムの	登講マナーで接 受験することが 備 考 る 各 回 の 習得する	受業に参加するできない。	することを求める(詳しくは、最初の
評価方法 授業計画(1回 2回 3回 4回	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テスト 平常点 (1回~8回) ガスエエンジステム 発電システム	はい。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15%) 授業内容 ドーの取扱い	出席するだり 業時数の 4 名 記験を総合 授業内容の 積極的な授	けでなく、社分の3以上出 分の3以上出 分の3以上出 が四に評価する がでする がスエンジ ガスエンジ ガスエンジ ガスエンジ	H会への移行を 対応 は 対応 で を記するため がでする。 がででする。 がでする。 がでする。 がででる。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする	を前提とした受 は定期試験を受 に実施する よって評価す の取扱い方法を 型解する そ電システムの	き講マナーで接 を験することが 備 考 る 名 する 習得する	受業に参加するできない。	することを求める(詳しくは、最初の
評価方法 授業計画 (1回 2回 3回 4回 5回 5回	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小ア常点 (1回~8回) ガスエンシン 発電 エンシン ガスエンシン ガスエンシン	はい。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15% 0 操業内容 デーの取扱い イン運転技術	出席するだり 業時数の4名 試験を総合 授業内容の 積極的な授	けでなく、社分の3以上出 分の3以上出 が1の3以上出 が2000 が2000 ガスエンジ ガスエンジ ガスエンジ ガスエンジ ガスエンジ	H会への移行を 対応 を記するため ででででででである。 でででである。 だっている。 だっている。 だっている。 だっている。 だっている。 だっている。 でいる。 だっている。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。	を前提とした受 は定期試験を受 に実 で まって で 事施 する い か か か か か か る で る で う な う で う る で う る う る う る う る う る う る う る う	き講マナーで接 を験することが 備 考 る 名回の 習得する	受業に参加するできない。	することを求める(詳しくは、最初の
評価方法 登業 1回 2回 3回 4回 5回	欠席は認めが 業で説明)。 種別 試テスト 平常点 (1回~8回) ガススエンシン ガススエンシン ガガススエンシン ガガススエンシン ガガススエンシン ガガススエンシン ガガススエンシン ガガススエンシンシン	はい。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15% 15% 2 グロ取扱い グロ取扱い グロ取扱い グロ取扱い グロ取扱い グロの取扱い グロの取扱い グロの取扱い グロの取扱い グロの取扱い グロの取扱い	出席するだり 業時数の 4 名 記験を総合 授業内容の 積極的な授	けでなく、社会の3以上出合的理解を原文 ガスエンジガスエンジガスエンジガスエンジガスエンジガスエンジガスエンジガスエンジ	H会へのの移行を は席しない者に は席しない者に で記載と で記載と で記載と でである。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででななでななでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなで	を前提と は定期試験を受 によっ によっ でよっ でよっ で 取扱する テム の と で で で で で で う で う で う で う た う く う く う く う く う く う く う く う く う く	登講マナーで接受験することが 備 考 - る - 各回の至 習得する - 構造について	受業に参加するできない。	することを求める(詳しくは、最初の
評価方法 授業 回 1回 2回 3回 4回 5回 7回	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テ常点 (1回~8回) ガススエンシン・ジングン・ジン・ジン・ジン・ジン・ジン・ジン・ジン・ジン・ジン・ジン・ジン・ジン・ジン	はい。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15% 15% つり でででである。 でででは、 でででである。 ででできでできでである。 ででである。 ででですででできでできでできでできでできでできでできでできでできでできでできでで	出席するだり業時数の4名	けでなり かの3以上出 の3以上出 がの3以上出 がの3以上出 がの3以上出 がの3以上 がの3に がっる がっる がっる がっる がっる がっる がっる がっる	会のの移行を 会にない者に では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を前提は定期試験を受けたまで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、	で持ずることが体 考る 各回の 3構造についてシ発電機の 4で持ずる	受業に参い。	することを求める(詳しくは、最初の
評価方法 授業計画(1回 2回 3回 4回 5回 6回 7回	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テ常点 (1回~8回) ガズス 電 エンンジン 発電 ス エ エ ン ン ジン ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ブ ブ ブ ブ ブ ブ ブ	はい。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15% 15% つり でででである。 でででは、 でででである。 ででできでできでである。 ででである。 ででですででできでできでできでできでできでできでできでできでできでできでできでで	出席するだり業時数の4名	けでなり かの3以上出 の3以上出 がの3以上出 がの3以上出 がの3以上出 がの3以上 がの3に がっる がっる がっる がっる がっる がっる がっる がっる	会のの移行を 会にない者に では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を 前提 によっ によっ によっ で 取 が る で で で で が な の の の の の の の の の の の の の	で持ずることが体 考る 各回の 3構造についてシ発電機の 4で持ずる	受業に参い。	することを求める(詳しくは、最初の
評価方法 授業計画(1回 2回 3回 4回 5回 6回 7回	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テ常点 (1回~8回) ガズス 電 エンンジン 発電 ス エ エ ン ン ジン ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ブ ブ ブ ブ ブ ブ ブ	はい。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15% 15% つり でででである。 でででは、 でででである。 ででできでできでである。 ででである。 ででですででできでできでできでできでできでできでできでできでできでできでできでで	出席するだり業時数の4名	けでなり かの3以上出 の3以上出 がの3以上出 がの3以上出 がの3以上出 がの3以上 がの3に がっる がっる がっる がっる がっる がっる がっる がっる	会のの移行を 会にない者に では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を 前提 によっ によっ によっ で 取 が る で で で で が な の の の の の の の の の の の の の	で持ずることが体 考る 各回の 3構造についてシ発電機の 4で持ずる	受業に参い。	することを求める(詳しくは、最初の
価 方法 授業計画(回 1回 2回 3回 4回 5回	欠席は認めた 業で説明)。 種別 試験 小テ常点 (1回~8回) ガズス 電 エンンジン 発電 ス エ エ ン ン ジン ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ブ ブ ブ ブ ブ ブ ブ	はい。授業に ただし、授 割合 70% 15% 15% 15% つり でででである。 でででは、 でででである。 ででできでできでである。 ででである。 ででですででできでできでできでできでできでできでできでできでできでできでできでで	出席するだり業時数の4名	けでなり かの3以上出 の3以上出 がの3以上出 がの3以上出 がの3以上出 がの3以上 がの3に がっる がっる がっる がっる がっる がっる がっる がっる	会のの移行を 会にない者に では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を 前提 によっ によっ によっ で 取 が る で で で で が な の の の の の の の の の の の の の	で持ずることが体 考る 各回の 3構造についてシ発電機の 4で持ずる	受業に参い。	することを求める(詳しくは、最初の